

報 告

第4回テレウスカップ ハンドバイクロードレース大会

エスマルクソーイング 代表 安齋 透

11月3日 千葉県成田市下総運動公園内サイクリングコースにて行われた「第4回テレウスカップ ハンドバイクロードレース大会」に参加してきました。

今回の投稿では、この大会を通してハンドバイクの魅力をお伝えしたいと思います。

私はハンドバイク愛好歴10年の42歳、最初はアダプタータイプと言う生活用車椅子に脱着するタイプの自転車を購入いたしました。

初めてハンドバイクを漕いだ瞬間、笑顔!笑顔!笑顔!になった事を今でも覚えています。その後もポジションを変えてより効率良く漕げるようになって笑顔!自転車の変速機を改造し急な坂道でも登れるようになって笑顔!さらに軽量化を施しレースに出るようになって笑顔!そのレースで優勝し副賞のレースタイプ・ハンドバイクを頂き笑顔!そして、今大会にレースタイプで出場し多くの仲間と集い笑顔!と言うようにハンドバイクのある生活をエンジョイしております。

今大会、私の出場したレースタイプ部門には10名がエントリー。1,500mのコースを10周してタイムを競います。

スタートして間もなくアジア大会金メダリストの奥村選手が飛び出し、その後を木村選手、私、熊谷選手が追う展開。1周目を過ぎる頃から各選手が離れ、各自単独走のままゴール。結果、奥村選手・木村選手・私・熊谷選手でした。私的には前の選手に着いて行く事ができず、トレーニング不足を痛感させられる内容でありました。

レースタイプ部門以外に、アダプタータイプ部門と

ロードバイク部門があります。

アダプタータイプ部門には13名がエントリー。同じコースを5周します。普段はお買物やサイクリングに使用しているアダプタータイプですが、いざレースとなると本気スイッチ・オン、中には頸損の方も数名エントリー。コースには下り坂の急なカーブや、カーブしながらの上り坂などもありましたが、皆さん無事完走。

ロードバイク部門は、13名がエントリー。同じコースを10周です。下肢切断の方や上肢障害の方が、各障害に合わせて改造・調整したロードバイクを乗りこなしていました。今回新設のロードバイク部門でしたが、様々な障害の方と交流したり、走りを観たり、自転車部品の改造を教えてもらったりと新たな刺激をいただきました。

競技終了後は表彰式や景品抽選会で盛り上がり、選手同士はもちろん、スタッフさんやボランティアさんとも親睦を深めました。

ハンドバイク愛好歴10年、今でもハンドバイクを漕ぐと笑顔!それは、レース順位が良くても悪くても、アダプタータイプでもレースタイプでも笑顔!なぜそこまで楽しいのか?

私なりの答え、それは自由だから。

日々練習しレースで上位を目指すもよし。運動不足解消のためコンビニエンスストアまで自走するもよし。健常の彼女とサイクリングするもよし。砂利道だって、坂道だって、晴れの日はもちろん雨の日だって、行きたい所へ自分の力で、自分のペースで行ける。それが、ハンドバイクであり笑顔の理由。

来年も、テレウスカップ ハンドバイクロードレース大会出場決定ですねっ

エスマルクソーイング

〒969-1205 福島県本宮市和田字河内174